

それぞれの多様な趣味も発見

楽しく、新入組合員の歓迎会を開催

6月15日（水）夜、明治大学の紫紺館でこの4月に入職した新入職員のみなさんの歓迎会を行いました。

この日は、現在までに区職労に加入された8名の新入職員のうち6名が主賓として、迎える側として組合役員や職場の先輩など26名の計32名が参加しました。

vagueの歓迎ソングで始まった会はお笑い調の衣装に身を包んだ学校分会の山口さんの名司会で、楽しく進行していききました。



出演のvagueと記念撮影の新人のみなさん

最初に歓迎の挨拶にたった西本執行委員長は「かつて松竹少女歌劇団の十代の少女達が処遇の改善を求めて闘ったことを知りました。いつの時代も働くものがいい仕事をしようとしたら、経営者と交渉していかなくてはなりません。そのためには組合が必要であり、地方公務員も直接首長と賃金交渉をもつ時が目前に迫っています。若いみなさんの力を更に大きくして頑張ってくださいましよう。今日は楽しんで下さい。」と述べました。

乾杯と歓談の後、6人の新しい仲間が初々しく自己紹介。自己アピールは少し控えめだったものの、趣味ではマラソン・野球・音楽・スポーツ観戦・野菜づくり・書道と多様な個性に驚きました。

続いて一昨年加入した一番町児童館の今井さんが登場。普段子ども達とやっている手遊びゲームを指導して、参加者を楽しませてくれました。

その後はアトラクションとして、一昨年ポニーキャニオンからメジャーデビューも果たした「せつなさ共感ユニット」のvagueが5曲を熱唱。そののびのある歌声に会場はひとつになりました。



テーブルごとに自己紹介をする参加者

そして、労金の牧本さんの挨拶に続いて、学校分会長の広田さんと区職労執行委員の橋本さんが、それぞれの職場の状況にも触れながら、新入組合員のみなさんへの期待と歓迎の言葉を贈りました。

最後に小林書記長が「まだまだ組合に加入してくれた新人は少ないが、これからの千代田区役所で働く職員のみなさんのことを考えると、もっと大きな組合にしていかなければなりません。みなさんの力も貸してください。」と挨拶し、お開きとなりました。